

大学研究センター日誌（1997年1月～1997年12月）

1997年（平成9年）

- 1月13日 Rcusセミナー。
- 1月20日 センター教員会議。
- 2月3日 Rcusセミナー。
- 2月19日 センター教員会議。
- 3月3日 Rcusセミナー。
- 3月10日 センター運営委員会。
- 3月12日 センター教員会議。
- 3月17日 第28回大学研究センター公開研究会開催。テーマは「政府と大学－政策研究の在り方を巡って－」。
- 3月24日 清水助教授「日米の大学単位制度の比較史的研究」で博士（教育学）号を授与。
- 3月26日 清水助教授、東北大学教育学部大学教育開放センター研究集会で研究発表。
- 3月31日 原教授、筑波大学退官（帝京平成大学に転出）。
- 4月1日 加藤毅講師（社会工学系）着任。
- 4月7日 センター共同研究プロジェクト打ち合わせ。
Rcusセミナー。
原教授、加藤講師の歓送迎会。
- 4月14日 米国トーマス・エジソン州立大学の副学長ジェニー・アイス（Jeny Ice）博士来訪。
- 4月16日 センター教員会議。
- 4月19日 日本高等教育学会発起人会。
- 4月20日 山本センター長、OECD/CSTP科学システムグループ会合に出席のためパリに出張。
～25日
- 5月12日 Rcusセミナー。
- 5月17日 原前センター長退官記念祝賀会（茗溪会館）。
- 5月21日 センター教員会議。
- 6月2日 Rcusセミナー。
- 6月18日 センター教員会議。
- 6月19日 センター運営委員会。
- 7月7日 Rcusセミナー。
センター共同研究プロジェクト「生涯学習社会に対応する大学改革の方策に関する調査研究」（生涯学習と大学改革プロジェクトと略称）第1回会合。
- 7月16日 センター教員会議

- 7月17日 清水助教授、高等教育の国際会議で研究発表のために、米国フィラデルフィア、イ
 ~25日 ンディアナポリスに出張。
- 7月28日 第29回大学研究センター公開研究会開催。テーマは「行政改革の中での国立大学－
 知識社会へ向けた期待と展望－」。
- 8月27
 ~28日 山本センター長、APEC「科学技術の理解増進に関する国際シンポジウム」(科学技
 術庁と科学技術振興財団の共催)に参加。
- 9月1日 Rcusセミナー。
 「生涯学習と大学改革プロジェクト」第2回会合。
- 9月17日 センター教員会議。
- 9月24日 センター共同研究プロジェクト「学術研究に対する資金供給システムに関する基礎
 的調査研究」(学術研究資金供給プロジェクトと略称)第1回全体会合。
- 10月6日 「生涯学習と大学改革プロジェクト」第3回会合。
- 10月12日 山本センター長、OECDと中国共催による「教育システムの質及び効率性の評価に
 ~16日 係る評価のための指標開発に関する専門家会議」出席及び研究発表のため、中国に
 出張。
- 10月29日 山本センター長、OECD科学技術政策委員会科学システムグループ会合出席のため
 ~11月2日 パリに出張。
- 11月10日 Rcusセミナー。
- 11月18日 米国ローズ・ハルマン工科大学学務担当副学長・教務部長・教授、金沢工業大学客
 員副学長アイファート (James R.Eifert) 博士を講師に招いて、特別講演会開催。
 テーマは、「米国の工学教育の新たな潮流」。
- 11月19日 全米科学財団国際プログラム部・国際政策分析上席専門職で、日本学術振興会招聘
 研究員としてセンターに滞在中のブランピード (William.A.Branpied) 博士による
 特別講演会を開催。テーマは、米国の科学技術政策の動向。
- 11月20日 センター教員会議。
 「学術研究資金供給プロジェクト」ワーキンググループ第1回会合。
- 11月31日～ 山本センター長、米国に調査研究のため出張。
- 12月1日 Rcusセミナー。
 「生涯学習と大学改革プロジェクト」第4回会合。
- 12月11日 「学術研究資金供給プロジェクト」ワーキンググループ第2回会合。
- 12月17日 センター教員会議。
 「学術研究資金供給プロジェクト」ワーキンググループ第3回会合。
- 12月25日 センターの第1回外部評価委員会開催。